



夏まつり

八月二日、「土沢小学校夏まつり」が土沢小学校グラウンドで開催され、霧出地区の子どもや保護者、地域の方、

霧出地域が一体に

「土沢小学校夏まつり」

PTA、地元消防団員など約三百人の方で賑わいました。これは、村文化財に指定されている土沢小学校庭園グラウンドを会場に、地域の皆さんと子どもが共に楽しもうと、小学校やPTA、霧出コミュニティが主催したもので、昨年に続いて二回目。

前半の子ども部では、子どもたちがこれまで練習してきた剣舞の披露や幾地集落のお囃子による盆踊り、出店などを実施。また、霧出地区体育協会やコミュニティの皆さんからは、焼きそばやソーめん、かき氷などが参加者全員に振る舞われました。黒木健さん（六年・山本）



は、「学校閉校まであと二年。地域の皆さんと楽しめる行事をこれからも続けたいです」と、話していました。後半の大人の部では、霧姫太鼓の披露や大島・上土沢・幾地集落のお囃子による盆踊りも行われ、ライトアップされた庭園グラウンドで、子どもと地域の方が一体となって夏の夜を楽しみました。訪れていた女性の方は「地域が一体になっていけるので、これからも続けていければいいですね」と話していました。



大盛況！おおいしダム湖畔まつり

「ダムの内部見学も」

森と湖に親しむ旬間にあわせて、七月二十六日、「おおいしダム湖畔まつり」が大石ダム湖畔県民休養地で開かれ、大勢の観光客で賑わいました。当日は、魚のつかみどりやウォーキングラリー、木工教室などを実施。また、関川中学校吹奏楽部の演奏や龍泉太鼓、フラダンス、よさこいソーランなども行われ、まつりを盛り上げました。



なかでも、子どもたちにも人気のあったのが、ダム湖でのカヌー体験。後藤陽菜子さん（四年・村上市）は「初めてカヌーに挑戦しました。最初は難しかったけど、とても面白いです」と、ダム湖での爽快なカヌー体験に満足気な表情でした。

大石ダムに理解を深めてもらおうと、「ダム内部見学会」もあわせて開かれました。参加した皆さんは、管理支所職員の案内で地下百層までエレベーターを利用して降り、普段は見ることができない内部を見学し、ダムの仕組みを学びました。

自治功労者 表彰式

8月1日 村民会館



自治功労者表彰には、23人の皆さんが選ばれました

永年村政の発展のために尽くされた皆さんを表彰する「自治功労者表彰式」が、八月一日、村民会館大ホールで



行われました。

式典では、平田大六村長が「皆さまは、村政発展のために永年にわたりご尽力されました。今後も村の発展のため、皆さまからのご指導をいただきようお願いします」と、式辞を述べました。

また、受賞者を代表して吉田明雄さん（下関）が「このような表彰をいただき身にあまる光栄です。受賞を契機に一層明るい地域づくりのため精進してまいります」と謝辞を述べました。

大好き！ おおいし・せきかわ

水源地域の活性化で表彰

大石集落住民で組織している「大好き！おおいし・せきかわ（高橋市太郎会長）」が、第六回花・人・みどりの水源地域活性化大賞優秀賞を受賞しました。

これは、森と湖に親しむ旬間全国行事実行委員会が、水源地域活性化のために主体的かつ継続的に活動している団体や個人を表彰するもの。同会では、ミズバショウやアヤマなどの植栽活動や、月

自治功労者表彰は、自治の発展や振興、教育・文化の向上、村民福祉の増進などに尽くされた方々や団体を対象に、村が二年に一度表彰を行っているものです。

受賞された皆さん、大変おめでとうございます。

*受賞された皆さんは、八月一日号「広報せきかわ」に掲載していますので、ご覧ください。

夜平ブナ林探訪ツアー、おおいし・どもんこまつりのイベントなど、自然環境を利用した活動が評価され今回の受賞となりました。

高橋市太郎会長は「大石にある自然を、参加してくれる皆さんと一緒に楽しくていきたいです」と、受賞の喜びを語っていました。



「大石川源流と月夜平ブナ原生林探訪会」のようす（5月24日）

ゆ〜む入館者

190万人達成



桂の関温泉ゆ〜むの入館者が、8月14日、190万人に達しました。

190万人目に来館した幸運な方は、小林由長さん（東京都中野区）。小林さんは、「実家が村上市で帰省するたびに、ゆ〜むを利用しています。とても嬉しいです」と、思わぬプレゼントにっこりでした。